

平成23年度末の最低責任準備金に対する積立状況
(速報値)

平成24年7月26日
厚生労働省年金局
企業年金国民年金基金課

1. 集計状況

現存している厚生年金基金数	576
現在までに報告があった基金数 (割合)	572 (99%)

2. 代行割れの状況 (保有資産が最低責任準備金に満たない状況)

代行割れ基金数 (割合)		286 (50%)
代行割れ総額	平成23年度末 (昨年からの増加額)	11,100 億円 (4,800 億円)
	(参考) 平成22年度末	6,300 億円 (212基金)

○代行割れ額の増加の主な要因としては

- ・ AIJ 投資顧問への投資額の毀損による影響
 - ・ 最低責任準備金の計算の際の厚生年金本体の運用利回りの影響
- などが考えられる。

(参考) 最低責任準備金の算定の際に用いる平成23年度の運用利回りは以下のとおり。

- ・ 平成23年4月から12月までは厚年本体の平成21年度の運用利回り (7.54%)
- ・ 平成24年1月から 3月までは厚年本体の平成22年度の運用利回り (▲0.26%)

3. 指定基金の状況

平成23年度末積立状況も踏まえた 指定基金の見込数	100
うち新たに指定が見込まれる基金数	19
(参考) 平成23年度現在の指定基金数	81

※1 当該数値は決算確定前のものであり、修正等があり得る。

※2 平成23年度末時点のAIJ投資顧問への投資分は全額毀損したものと計上。

平成23年度末の最低責任準備金に対する積立状況（AIJ被害基金分）
（速報値）

平成24年7月26日
厚生労働省年金局
企業年金国民年金基金課

1. AIJ被害基金（81基金）の代行割れの状況

代行割れ基金数（割合）		62（77%）
代行割れ総額	平成23年度末 （昨年からの増加額）	3,000 億円 (1,900 億円)
	（参考）平成22年度末	1,100 億円（36基金）

2. AIJ被害基金（81基金）の指定基金の状況

平成23年度末積立状況も踏まえた 指定基金の見込数	31
うち平成24年度に新たに 指定が見込まれる基金数	17
（参考） 平成23年度現在の指定基金数	14

- ※1 当該数値は決算確定前のものであり、修正等があり得る。
- ※2 平成23年度末時点のAIJ投資顧問への投資分は全額毀損したものと計上。
- ※3 最低責任準備金の算定の際に用いる平成23年度の利回りは以下のとおり。
 - ・平成23年4月から12月までは厚年本体の平成21年度の利回り（ 7.54%）
 - ・平成24年1月から 3月までは厚年本体の平成22年度の利回り（▲0.26%）